

名古屋大学 医学部史料館

NAGOYA UNIVERSITY MEDICAL MUSEUM



「明治初年愛知県公立病院外科手術の図」（名古屋大学附属図書館医学部分館所蔵）



名古屋大学 医学部史料館のあゆみ

名古屋大学医学部史料館の前身は医学部資料室であり、名古屋大学医学部の歴史を世界の中に位置づけ、将来を展望する場を企図して、1971年に現医学部図書館（名古屋大学附属図書館医学部分館）の4階に設置されたものです。そこでは、医学部や医学史・医療史に関連する古医書、歴史的な医療器具、写真等が収集・保存・展示されていました。

1983年末になり、当時の医学部図書館長が、医学部資料室が倉庫同様の散々な状態であることを危惧して、同窓会（1954年卒業・旧終会）でその改善の提案を行い、卒業30周年の記念事業として整備することが決定されました。そして、同窓生の寄付金を元に、1986年・1991年・1998年と3度にもわたる資料室の整備改修が実施され、名称も「医学部史料室」と改められました。

そして、2021年に医学部創基150周年基盤整備支援事業の一環として、この医学部史料室は医学部図書館の4階から2階に医学部史料館として移設され、生まれ変わることになりました。新たに開かれた史料館として、名古屋大学医学部の歴史を周知し、語り継いで頂くことがその目的になります。VR(virtual reality)などの新たな展示手法を取り入れ、全面的な改装が行われました。

本史料館の所蔵品は、史料の形態から見て、大きく次の3つの観点に分類することができます。

1)医学の歴史・発展に関する所蔵品

ヴェサリウス「ファブリカ梗概」の注釈本、杉田玄白「解体新書」等

2)名古屋大学医学部の歴史に関する所蔵品

ヨングハンスとローレツの著書と写真等、愛知医学校長後藤新平と同時代の医学者（司馬凌海、奈良坂源一郎など）の関連史料等

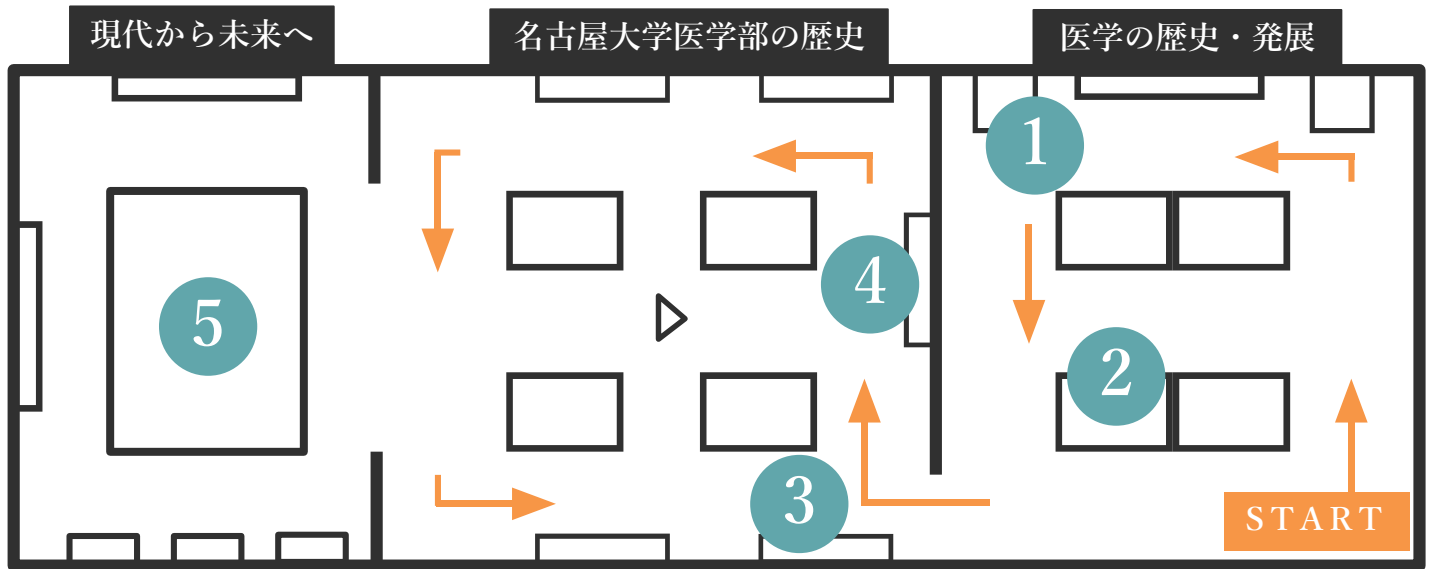
3)現代から未来へ

VR(virtual reality)、企画展示等

名古屋大学医学部の創基から現代に至るまでの医学史に輝く先駆者たちの歴史をご理解いただき、将来を展望する場所となれば幸いです。



展示配置図



Pickup

1 『人体発汗天秤』 昭和初期

世界で初めてヒトの汗の本格的な研究を行った久野寧が、発汗を定量的に測定する目的で作製した。



3 『ヨングハンス 植皮手術』 1875年

本邦初といわれる皮膚植皮手術を実施している様子。



2 『桐原式軟性胃鏡』 1937年

名古屋医科大学の桐原真一教授が作製したもの。先端が手元の操作により前方に屈曲できる胃鏡で、桐原は、この胃鏡を使って600回余りも人体の胃内観察を行い、武井の協力のもとに、胃内の写真撮影を試みた。



4 『明治初年愛知県公立病院外科手術の図』 1880年

愛知県の浮世絵画家である柴田芳洲(ほうしゅう)による絵。片膝立ちで執刀するのが後藤新平、左端の開放点滴吸入麻酔を行っているのがローレツだが、この時まだ30歳台初めだったにも関わらず、ローレツの好みにより、老人姿で描かれている。和服で患者の腕を支えるのが司馬凌海、洋服でスプレーを持つのが早川養順(はやかわようじゅん)と伝えられている。



すべて名古屋大学附属図書館医学部分館所蔵 「近代医学の黎明デジタルアーカイブ」 <https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medlib/history/index.html> でも公開中

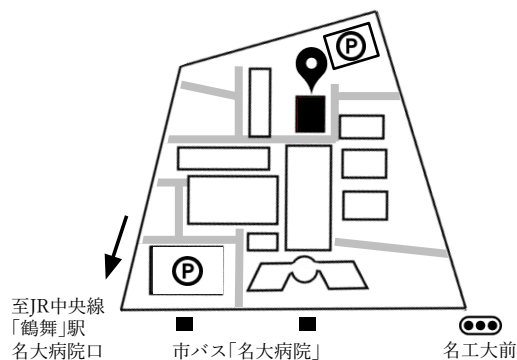
5 VR(virtual reality)

旧愛知病院本館の外観を3DCGで忠実に再現した。ユーザーは館内を自由に移動することが可能。後藤新平氏の若かりし頃を再現した3DCGがVRツアーを行い、各部屋の説明や名古屋大学医学部の歴史を紹介する。各部屋では当時の研究や器具も再現されているほか、資料に基づいて医者、患者、生徒などを配置することで、臨場感を演出している。



名古屋大学医学部史料館

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65
名古屋大学附属図書館 医学部分館2階



名古屋大学医学部史料館は
皆様からのご支援に支えられています

創基150周年医学部基盤整備支援事業

名古屋大学医学部 150周年
創基 周年 記念
150th anniversary of foundation of
Nagoya University School of Medicine

キャンパスアイデンティティの実現に向けたキャンパスの整備
医学部のブランド力向上を目指したキャンパスを整備します。

名大医学部 150周年基金



名古屋大学特定基金 附属図書館支援事業

学修環境の改善、文化財保護に努めています。

名古屋大学特定基金
附属図書館支援事業

